

令和6年度



# しもよねだ

第3号

令和6年5月29日(水)

## あなたが「うれしい」と思うのはどんなときですか？

～5年生「夢の教室」の様子から～

校長 板津 英文

5月16日、5年生で、JFA こころのプロジェクト「夢の教室」を行いました。これは、様々な競技の選手などを「夢先生」として学校に派遣し、「夢に向かって努力することの大切さ」などを伝えるというプロジェクトです。

今回、お招きした「夢先生」は、男子新体操パフォーマーの井藤亘さんです。

### ◎横一列で、だるまさんがころんだ

「夢の教室」の前半は、ゲームの時間。横一列になって、「だるまさんがころんだ」です。アシスタントの方が持つボールが手から離れている間だけ、前に進めません。ボールが高く上がっている間は、多く前に進めません。一回で進む距離は人によって違いましたが、全員無事ゴールできました。



手をつないで、だるまさんがころんだ

### ◎手をつなぐと、とたんに難しくなる

次に、全員手をつないで、「だるまさんがころんだ」です。つないだ手を放さずにゴールをしなければなりません。何度も挑戦しますが、途中で手が離れてしまい、ゴールにたどりつきません。途中、作戦を立てて挑戦しましたが、もう少しのところまで、手が離れてしまいます。

そして、もう一度夢先生との作戦タイム。今度は、それぞれが、「見て動く」のではなく、仲間が「はい」と声を出している間だけ「聞いて動く」という作戦です。



夢先生との作戦タイム

### ◎苦労した分だけ、うれしい気持ちになる

「聞いて動く」作戦は、一度に進む距離は短いですが、手を放さず、一步一步確実に進めました。そして、ついに、手をつないで全員でゴール！！その瞬間、みんな跳びあがって喜んでいましたね。

考えて、考えて、考えて、苦労して、みんなで勝ち取ったゴールでしたね。「夢の教室」、とても素晴らしい時間でした。井藤さん、スタッフの方、ありがとうございました。